

# 都市再生整備計画事業 事後評価シート

## 蒲郡快適安心地区

令和2年3月

愛知県蒲郡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	蒲州市	地区名	蒲郡快適安心地区			面積	380ha
交付期間	平成27年度～令和元年度	事後評価実施時期	令和元年度	交付対象事業費	2,108百万円	国費率	0.4		

令和2年3月

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名						
	基幹事業		五反田公園、港町東公園、竹島園地公衆トイレ1ヶ所、蒲郡駅南土地区画整理事業、蒲郡中部土地区画整理事業						
	提案事業		事業分析						
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし						
		提案事業	なし						
新たに追加した事業	基幹事業	水竹公園	土地区画整理事業の進捗に合わせて、基幹事業として公園整備を実施(関連事業から基幹事業への変更)			関連事業から基幹事業への変更であり、整備内容に変更はないため、数値目標等への影響はない。			
	提案事業	なし							
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
	変更	なし							

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	あり	なし				
	指標1	住みやすさ住民満足度	—	3.47	H26	3.50	R1	3.50	3.60	○	あり	土地区画整理事業の計画的進捗をはじめとした事業の計画的進捗により、住みやすさに対する住民満足度は着実に向上している。	
	指標2	居住人口	人	8,444	H26	8,500	R1	8,861	9,037	○	あり	土地区画整理事業の計画的進捗に合わせて、着実に居住人口の増加が図られている。	R2年6月
	指標3	観光ボランティアガイド利用者数	人	25,200	H26	28,700	R1	10,634	12,250	✳	あり	竹島園地公衆トイレ整備や観光活性対策事業等を計画通り事業実施しているが、観光ボランティアガイド利用者増には繋がっていない状況にある。	R2年6月
										○	なし	観光形態変化(団体から個人)に伴い、ガイドの利用方法も変化していると思われる。(竹島地区の観光客は増加傾向にある。)	

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	その他の数値指標2		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	あり	なし				
	その他の数値指標1	観光客数(竹島地区)	人	2,035,700	H25			2,353,487	2,270,500			観光利便性の向上に伴い、減少傾向にあった観光客数が増加に転じており、本事業による観光客増加効果が発現していると考えられる。	R2年6月
	その他の数値指標2												

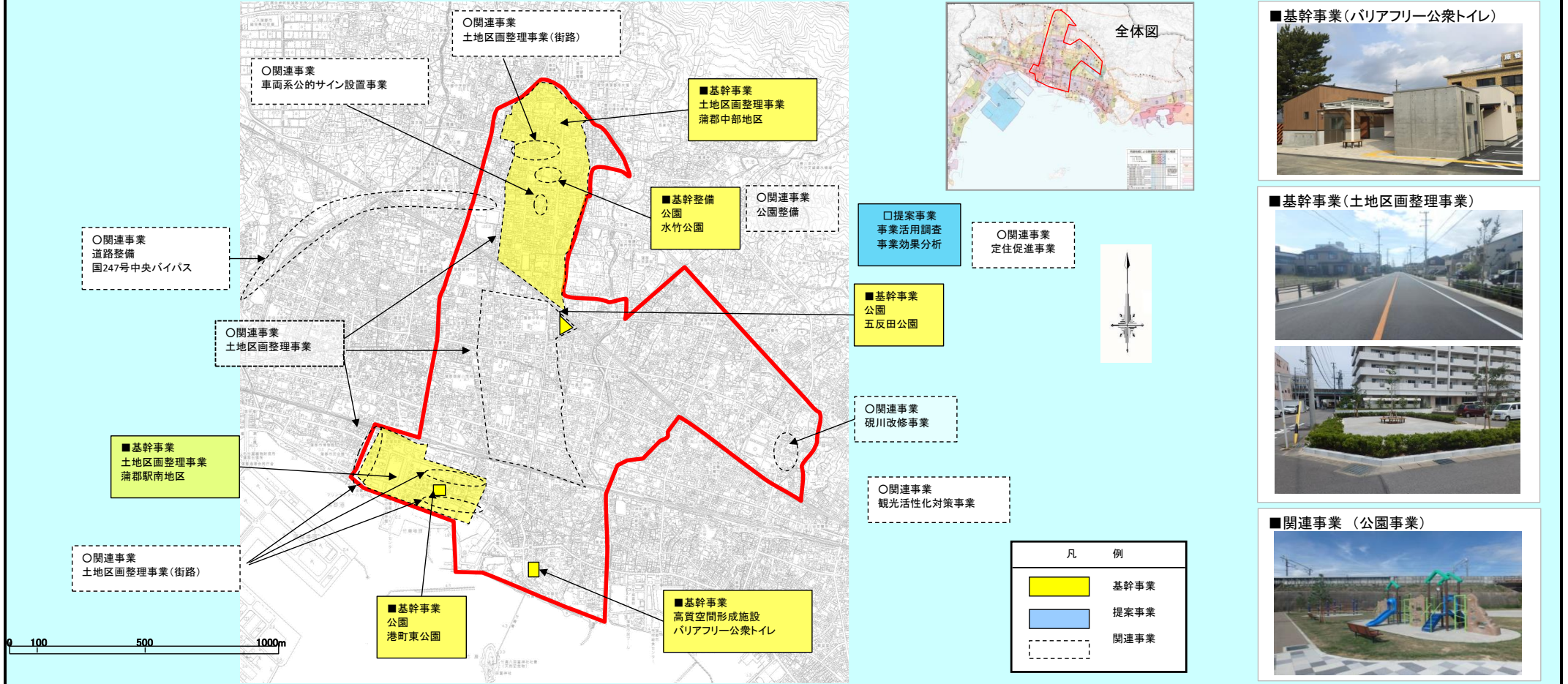
4) 定性的な効果発現状況	特になし。												
---------------	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	令和2年3月		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	次年度以降の事業実施時においても必要に応じ適切に実施する。		
		愛知県蒲州市		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
	住民参加プロセス	市民と産・官が一体となった"蒲郡の総合力"による新・観光産業の振興		都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	本市の観光的な魅力を向上するとともに、広域的なニューリズムの維持・充実を図る。		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた							
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

### 蒲郡快適安全地区(愛知県蒲郡市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	標準	目標値	標準	評価値	標準
令和2年3月	住みやすさ住民満足度	単位:—	3.47	H26	3.50	R1	3.60	H31
愛知県蒲郡市	居住人口	単位:人	8,444	H26	8,500	R1	9,037	H31
	観光ボランティアガイド利用者数	単位:人	25,200	H26	28,700	R1	12,250	H30



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>□土地区画整理事業等の計画的進捗により、着実に人口増加が図られた。</li> <li>□都市基盤整備等の計画的進捗により、住みやすさ満足度は着実に向上した。</li> <li>□観光利便施設等の整備により、観光客数の増加が図られた。</li> <li>□観光ガイドなどの観光サービスの取組みのより一層の充実を図る。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□土地区画整理事業等の計画的進捗による人口定着の継続的実現→土地区画整理事業の計画的実施および定住促進策の効果的実施【蒲郡中部地区土地区画整理事業(継続)】</li> <li>□基盤整備等の計画的実施によるすみやすい環境の継続的向上→利便性向上に合わせて、安心・安全なまちづくりの充実【公園(新井形公園・松前公園)、蒲郡市民体育センター(耐震改修・駐車場整備・機能向上改修)】</li> <li>□観光客数の増加傾向の維持・向上→観光イベントやボランティアガイドなどの継続・充実【既存観光活動等の維持・充実】</li> <li>□観光サービスの取組み(観光ガイドなど)のより一層の充実→観光ボランティアガイドなどの継続・充実【既存観光活動等の維持・充実】</li> </ul>

# 都市再生整備計画事業 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 — 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

令和2年3月 愛知県蒲郡市	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他		○			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園	五反田公園	70	A=3,000㎡	67.4	A=3,000㎡	事業費の精査による減額	影響なし	○	
公園	港町東公園	40	A=1,300㎡	40.6	A=1,300㎡	事業費の精査による減額	影響なし	○	
公園	水竹公園			424.5	A=10,000㎡	土地区画整理事業の進捗に合わせて、基幹事業として公園整備を実施(関連事業から基幹事業への変更)	関連事業から基幹事業への変更であり、整備内容に変更はないため、数値目標等への影響はない。		○
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設(歩道上屋設置等)	竹島園地公衆トイレ1ヶ所	50.0	1ヶ所	33.0	1ヶ所	事業費の精査による減額	影響なし	○	
高次都市施設(地方都市リノベーション事業)									
地方都市リノベーション推進施設									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)	蒲郡駅南	122.0	19.59ha	179.7	19.59ha	事業費の精査による増額	影響なし		○
土地区画整理事業(都市再生)	蒲郡中部	1247.0	53.31ha	1357.7	53.31ha	事業費の精査による減額	影響なし		○
住宅市街地総合整備事業									
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無		
			基準 年度		基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度					あり	なし		
令和2年3月 愛知県蒲郡市	住みやすさ住民満足度	—	市が実施した住民アンケートにおける、住みやすさ満足度を点数評価をし、その平均値			3.47	H26	3.50	R1	モニタリング		3.5	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み ●	3.6	事後評価	○		
指標2	居住人口	人	地区内に居住する人数			8,444	H26	8,500	R1	モニタリング		8,861	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み ●	9,037	事後評価	○		
指標3	観光ボランティアガイド利用者数	人	観光ボランティアガイドを利用した観光客数			25,200	H26	28,700	R1	モニタリング		10,634	モニタリング	×		○
										事後評価	確定見込み ●	12,250	事後評価	×		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	事業進捗に伴い、従前に対してモニタリング時、評価時と着実に満足度が向上し、目標値を達成する成果が発現している。	
指標2	事業進捗に伴い、着実に人口定着が図られ、モニタリング時には目標を上回る成果となっていた。評価時ではモニタリング時以上の人口定着が実現し、目標を大きく上回っている。	
指標3	観光客数は増加している(その他指標)が、観光形態の変化に伴い、観光ボランティアガイドの利用者数が減少している。モニタリング時よりも利用者数は増加しているが、目標を達成することは困難な状況にあると考えられる。	観光サービス関連施設等の整備効果は直接、観光客数の増加や観光満足度などで計測することが望まれる。特に、観光ガイドは観光形態(団体・個人・イベント参加・観光地めぐり)により大きく影響を受けるため、整備効果を直接計測することは困難であった。
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合



添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
			基準 年度		基準 年度							
その他の 数値指標1	観光客数(竹島地区)	人	竹島地区の年間観光客数			2,035,700	H25	モニタリング		2,353,487	観光ボランティアガイド利用者 数を補完し、観光面での事業効 果を計測するため。	
								事後評価	確定 見込み ●	2,270,500		
その他の 数値指標2								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3								モニタリング				
								事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

特になし。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
令和2年3月 愛知県蒲郡市	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】平成29年度に1回 【実施時期】平成29年7月～平成30年1月 【実施結果】事業評価上の課題を確認した。	次年度以降の事業実施時においても必要に応じ適切に実施する。

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
市民と産・官が一体となった”蒲郡の総合力”による新・観光産業の振興	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	「MIKAWAdeじゃんだらりん」(旧「みかわdeおんぱく」)の開催 ・当初、本市のみの開催であったが、平成26年度以降広域的な開催になるとともに、開催日数が増加している。	本市の観光的な魅力を向上するとともに、広域的なニューリズムの維持・充実を図る。
「五反田公園」公園づくりワークショップ	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】3回開催 【実施時期】平成26年9月、11月 【実施結果】地域住民の意見やアイデアを実際の公園設計に反映。	維持管理についての取組みに発展させる。
「港町東公園」公園づくりワークショップ	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】3回開催 【実施時期】平成28年9月、10月、12月 【実施結果】地域住民の意見やアイデアを実際の公園設計に反映。	維持管理についての取組みに発展させる。
「水竹公園」公園づくりワークショップ	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】4回開催 【実施時期】平成29年9月、10月、12月 【実施結果】地域住民の意見やアイデアを実際の公園設計に反映。	維持管理についての取組みに発展させる。

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
蒲郡市観光ビジョン運営委員会	<input type="radio"/> 予定どおり実施した <input type="radio"/> 予定はなかったが実施した <input type="radio"/> 予定したが実施できなかった (理由)	観光交流フェア・シティドレッシング・おもてなし教育事業・観光交流活動補助事業・観光アクションプラン事業	運営委員会は、従来の「観光都市・蒲郡」を支えてきた観光業界のみならず、各種産業界、行政、市民団体を含めたオール蒲郡市民による総合力で新たな「観光交流都市」を育てている。	観光交流ウィーク・シティドレッシング・おもてなし教育事業・観光交流活動補助事業・観光アクションプラン事業を継続して推進する。

### (3) 効果発現要因の整理

#### 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
令和2年3月 愛知県蒲郡市	区画整理課、観光商工課、体育課、企画政策課 財務課、土木港湾課、都市計画課、道路建設課 交通防犯課、都市計画課	令和元年10月	都市計画課(都市再生整備計画事業主管課)

#### 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1		指標2		その他指標	
指標名		住みやすさ住民満足度		居住人口		観光客数(竹島地区)	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	五反田公園	◎	土地区画整理事業の計画的進捗をはじめとした事業の計画的進捗により、住みやすさに対する住民満足度は着実に向上している。	◎	土地区画整理事業の計画的進捗に合わせ、着実に居住人口の増加が図られている。	○	観光利便性の向上に伴い、減少傾向にあった観光客数が増加に転じており、本事業による観光客増加効果が発現していると考えられる。
	港町東公園	◎		◎			
	水竹公園	◎		◎			
	竹島園地公衆トイレ1ヶ所	○		○			
	土地区画整理事業(蒲郡駅南)	◎		◎			
土地区画整理事業(蒲郡中部)	◎	◎					
提案事業	事業分析	-		-		-	
関連事業	定住促進事業	◎		◎		○	
	観光活性対策事業	○		○		◎	
	道路築造事業(国道247号中央バイパス)	○		○		○	
	土地区画整理事業(街路)(都)松原線	○	◎	○			
	土地区画整理事業(街路)(都)坂本線	○	◎	○			
	土地区画整理事業(街路)(都)海岸線	○	◎	○			
	土地区画整理事業(街路)(都)環状線	○	◎	○			
	土地区画整理事業(蒲郡蒲南、蒲郡中部、蒲郡駅南)	○	◎	○			
	硯川改修事業	○	○	○			
	車両系公的サイン設置事業	○	○	○			

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	その他指標
	土地区画整理事業等の計画的な進捗を図る。	土地区画整理事業等の計画的な進捗を図る。	観光客の維持・増加を図るために、「もてなし」等のソフト事業の充実を図る。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3													
指標名		観光ボランティアガイド利用者数													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類		
基幹事業	五反田公園	-	竹島園地公衆トイレ整備や観光活性化対策事業等を計画通り事業実施しているが、観光ボランティアガイド利用者増には繋がっていない状況にある。観光形態変化(団体から個人)に伴い、ガイドの利用方法も変化していると予想される。(竹島地区の観光客は増加傾向にある。)	Ⅲ											
	港町東公園	-													
	水竹公園	-													
	竹島園地公衆トイレ1ヶ所	△													
	土地区画整理事業(蒲郡駅南)	-													
提案事業	土地区画整理事業(蒲郡中部)	-													
	事業分析	-													
関連事業	定住促進事業	-													
	観光活性化対策事業	△													
	道路築造事業(国道247号中央バイパス)	-													
	土地区画整理事業(街路)(都)松原線	-													
	土地区画整理事業(街路)(都)坂本線	-													
	土地区画整理事業(街路)(都)海岸線	-													
	土地区画整理事業(街路)(都)環状線	-													
	土地区画整理事業(蒲郡蒲南、蒲郡中部、蒲郡駅南)	-													
	硯川改修事業	-													
車両系公的サイン設置事業	-														

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	団体ツアー客から個人客(個人での観光情報収集)へと観光動向・サービス意向が変化している中で、今後の観光ボランティアガイドの活用方針を検討していく必要がある。			
------------------	--	--	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
令和2年3月 愛知県蒲郡市	区画整理課、観光商工課、体育課、企画政策課 財務課、土木港湾課、都市計画課、道路建設課 交通防犯課、都市計画課	令和元年10月	都市計画課(都市再生整備計画事業主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
総合的な人口定住実施して いく必要がある。	土地区画整理事業等の計画的進捗により、着実に人口 増加が図られた。	特になし	特になし
住民が安心して暮らせる環 境整備を推進する必要がある。	都市基盤整備等の計画的進捗により、住みやすさ満足 度は着実に向上した。	特になし	特になし
観光施設の魅力維持・向上 を図る必要がある。	観光利便施設等の整備により、観光客数の増加が図ら れた。	観光サービスの取組み(観光ガイドなど)のより一層の充実 を図る。	特になし
都市基盤の未整備地区に おけるアメニティ向上を図る 必要がある。	都市基盤整備等の計画的進捗により、住みやすさ満足 度は着実に向上した。	特になし	特になし

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添  
付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を  
添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	土地区画整理事業等の計画的進捗による人口 定着の継続的実現	土地区画整理事業の計画的実施および定住促進策の効果的実施	■蒲郡中部地区土地区画整理事業(継続) ■定住促進事業
	基盤整備等の計画的実施によるすみやすい環 境の継続的向上	利便性向上に合わせて、安心・安全なまちづくりの充実	■公園(新井形公園・松前公園) ■蒲郡市民体育センター(耐震改修・駐車場整備・機 能向上改修)
	観光客数の増加傾向の維持・向上	観光イベントやボランティアガイドなどの継続・充実	○既存観光活動等の維持・充実

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	観光ガイドなどの観光サービスの取組のより一 層の充実	観光ボランティアガイドなどの継続・充実	○既存観光活動等の維持・充実
	・未達成の目標を達成するた めの改善策 ・未解決の課題を解消するた めの改善策 ・新たに発生した課題に対す る改善策		

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	住みやすさ住民満足度	—	3.5	H26	3.5	R1	確定 ●	3.6	○	あり				
							見込み			なし				
指標2	居住人口	人	8,444	H26	8,500	R1	確定 ●	9,037	○	あり				
							見込み ●			なし	令和2年6月	地区内に居住する人数		
指標3	観光ボランティアガイド利用者数	人	25,200	H26	28,700	R1	確定 ●	12,250	×	あり				
							見込み ●			なし ×	令和2年6月	観光ボランティアガイドを利用した観光客数		
指標4							確定			あり				
							見込み			なし				
指標5							確定			あり				
							見込み			なし				
その他の数値指標1	観光客数(竹島地区)	人	2035700	H25			確定 ●	2,270,500			令和2年6月	竹島地区の年間観光客数		
その他の数値指標2							確定							
							見込み							
その他の数値指標3							確定							
							見込み							



## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
都市再生整備計画事業 事後評価シート	うまくいった点	事業実施による効果が着実に発現した。	観光サービス関連施設等の整備効果は直接、観光客数の増加や観光満足度などで計測することが望まれる。
	うまくいかなかった点	観光サービス関連施設整備による効果を適切に計測することが難しかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	目標と目標を定量化する指標の3つがそれぞれ対応しており、目標と数値指標との関係が明瞭であった。	
	うまくいかなかった点	特になし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	「MIKAWAdeじゃんだらりん」(旧「みかわdeおんぱく」)の開催により、事業の波及効果が得られたといえる。	
	うまくいかなかった点	特になし	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

### 添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

中心拠点蒲郡地区都市再生整備計画事業(令和2～6年)

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
令和2年3月 愛知県蒲郡市	市ホームページに原案を掲載	令和元年11月15日～29日	令和元年11月15日～29日	都市計画課を受付窓口とし、意見書・電子メール・電話・ファックスによる意見を受け付ける。	都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	「広報がまごおり」に公表方法等を掲載	11月号	なし		
説明会・ワークショップ	なし	なし	なし		
その他	都市計画課(都市再生整備計画主管課)にて原案閲覧	令和元年11月15日～29日	令和元年11月15日～29日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド利用者数に対して、目標値が合理性のない過大な数字である。適切な設定の検討をすべきであった。</li> <li>・ガイド利用者数については、ガイドの高齢化と会員の減少による原因もある。</li> <li>・竹島地区観光客数について算出根拠を示す必要がある。</li> <li>・観光利便性の環境整備としては、今後、飲食店、物販店、休憩所・ロッカー・トイレ等のサービス施設の充実が必要。</li> </ul>
-------	---

## (6) 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

### 添付様式8 都市再生整備計画事業事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
令和2年3月	長谷川 直樹(近畿大学産業理工学部准教授)	令和元年12月26日(木)	都市計画課	蒲都市都市再生整備計画 評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	近藤 二吉(蒲郡駅南土地区画整理審議会 会長) 岩井 襄治(蒲郡中部土地区画整理審議会 会長職務代理)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に基づき事後評価が適切に実施されたことを確認した。
	成果の評価	成果の評価は適切に実施されたことを確認した。 指標3「観光ボランティアガイド利用者数」は数値目標は達成されていないが、活動としては十分評価に値する状況にあったことを確認した。
	実施過程の評価	効果発現要因の整理は適切に実施されたことを確認した。
	効果発現要因の整理	効果発現要因の整理は適切に実施されたことを確認した。
	事後評価原案の公表の妥当性	適切に公表され、意見内容の対応内容も適切であることを確認した。 (「観光ボランティアガイド利用者数」は数値目標は、活動としては十分評価に値する状況にあったことを確認)
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは適切に実施されたことを確認し、原案を了承した。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	今後の街づくり方策の内容は適切であると判断した。
	フォローアップ	フォローアップの時期・方法は適切であることを確認した。
	その他	公園の利用管理等のルールについて、計画算定の市民参加に合わせて実施していくべき点を提案した。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後の街づくり方策の内容は妥当であることを確認し、原案を了承した。
その他	観光振興に関する事業を充実していくことが重要であることを提案した。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
令和2年3月 愛知県蒲郡市		

有識者の意見	なし
--------	----